

#1003 行動履歴や機械稼働状況データを活用して現場全体を効率化



■ ■ 現場詳細 ■ ■ 愛媛県東温市

豪雨により拡大した池ヶ谷堰堤右岸部での山腹崩壊の復旧工事

【施工数量】 土量：掘削 14,000m³

【ソリューション】 Smart Construction 3D Machine Guidance/Smart Construction Fleet/ペイロードメーター

【稼働建機】 PC78USマシンガイダンス装着機

(掲載月：2025年3月)

Smart Construction 3D Machine Guidanceで積載管理

Smart Construction Fleetを利用した交通管理が実現



■ ■ 導入経緯 ■ ■

渡部工業(株) 工事部主任 釣井太志さん

当社はICT施工への取り組みをいち早く進めており、ドローンによる写真測量やレーザースキャナーを用いた測量、3次元設計データの作成ソフト、3次元点群処理ソフトを保有し、外注委託することなく積極的にICT施工を自社で対応できるように内製化しています。

ICT施工Stage2への取り組みとして、行動履歴や機械稼働状況等のデータを活用し現場全体を効率化させるために、コマツのスマートコンストラクション®のソリューションが必要であると考え、今回の導入に至りました。

■ ■ 導入効果 ■ ■

渡部工業(株) 工事部主任 釣井太志さん

当現場はダンプが走行する道路が狭く、行き違い時に混雑が発生する恐れがあるため、Smart Construction Fleetを導入しました。これにより、運搬車両同士がリアルタイムで走行位置を把握できるようになり、走行ルート上での音声による警告アナウンスや、現場事務所からの運行状況確認・音声アナウンスを通じて安全運転に対する意識の向上を図ることができました。

また、毎日の運搬管理表を作成する際に、従来は手作業で集計していたため1時間程度かかっていましたが、アプリ内に走行記録や積み込み実績のデータが蓄積されているため、10分程度で作成することができて、生産性向上につながりました。

渡部工業(株) 様

昭和44年7月設立

経営理念：高い志を持ち社会に必要とされる企業として社員と共に成長していく



工事部主任 釣井太志 さん